

サッカー・関東大学リーグ戦

3連覇へ好発進 初戦大勝



4月6日、東京・北区の味の素フィールド西が丘で関東大学サッカーリーグ戦の開会式が行われた。全選手を代表して長澤和輝主将(経営4・八千代高)が「今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、仲間を信じ、己を信じ、全力でプレーすることを誓います」と、声高らかに選手宣誓を行い、今年



▲今年もエースとして期待がかかる仲川

のリーグ戦が開幕した。式後に行われた第1節の桐蔭横浜大戦は、仲川輝人(商3・日体荏原)、前澤甲気(経営3・清水商高)の2得点を

始めとする攻撃的サッカーで6-2の大勝。源平貴久監督が「守備面で心配な点が多い」と話す所あり、この試合ではミスから先制点を許したが、「昨年より攻撃力は上がっている。いかに点をとるかがポイントになる」と期待を抱かせる。

の日程
▽4月20日専大―慶大
▽4月27日専大―順大
▽5月3日専大―国士大
▽5月6日専大―流経大
▽5月12日専大―筑波大
▽5月18日専大―中大
▽5月26日専大―日体大
※時間、会場は関東大学サッカー連盟ホームページ(<http://www.juis-kanto.jp/>)で確認ください。
4人が出場
大学日韓定期戦(3月24日、韓国・ソウル 準硬式野球・関東地区大学選手権)
なほ、チームキャプテンを務めた長澤が大会優勝選手に選ばれた。(鈴木 詩織・文3 写真も)

法大に惜敗しベスト8

関東地区大学準硬式野球選手権が3月24日から4月2日まで、埼玉県浦和市市民球場ほかで行われ、専大はベスト8に終わった。

決勝進出2校は全日本大学選手権(以下全日本)への出場権が得られる今大会。初戦の東京都大戦は渥美利紀(法3・掛川西高)の満塁本塁打などで10-0のリード勝ち。続く関東学院大戦を4-0、埼玉大戦を14-2と危なげなく勝ち進んだが、準々決勝で法



▲初戦で活躍した渥美

馳、黒岩両氏のスペシャル対談



大に4-5で惜敗した。第では全日本の切符を手しかし、4月14日から始まる東都大学準硬式野球春季リーグ戦の結果次写真も)(真田 泰太・文3)

3月23日、生田キャンパスで「体育会新入生歓迎会」が強化部の1年次生がどうあるべきか、どのように大学生活を過ごすか、について専大時代の経験者である、大時代の経験者である、熱く語った。黒岩氏は「停滞は後退。常に前進することを心掛けてほしい」と学生にエールを送った。終了後、キャンパス内の「レストランVIEW」で懇親会が行われ、親睦を深めた。(村上、撮影◎葛西)

卓球・東京選手権

劉が女子単でベスト4



3月12日から17日まで、東京・大田区総合体育館で東京卓球選手権が行われ、劉莉莎(商2・日南学園高)写真が女子シングルスでベスト4に入賞した。劉は5回戦で山梨(十

との試合も4-3で粘り勝ち。準決勝に駒を進めたが、肖萌(アスモ)に2-4で敗れた。昨年のベスト8から順位を上げた劉に期待は高まるばかりだ。(村上 大晃・文3)

山中慎介チャンピオン 三度防衛

ボクシングWBC 世界バンタム級

4月8日、東京・両国国技館でWBC世界バンタム級タイトルマッチ、山中慎介さん(平17商)とツニヤカオ(右)にアッパーを浴びせる山中さん。毎日新聞社提供

帝拳ジム)VSマルコム・ツニヤカオ戦が行われ、山中さんが12ラウンドTKO勝ちを収め、3度目の防衛を果たした。第1ラウンドこそ固さがあって山中さんだが、第2ラウンドからは立て直し、第3ラウンドではダウンを2回奪い、試合を優勢に進めることに成功する。挑戦者は第4ラウンドから息を吹き返したが、山中さんがリードを保ち、試合は最終12ラウンドへ。落ち着いた試合運びで相手の一瞬の隙につけ込み、左ストレートをヒットさせた山中さんがこの試合3度目のダ

この試合の結果、通算成績は20戦18勝(13KO)2分となった。(村上)

2種目で準優勝

馬術・関東学生春季大会団体戦

3月29日から31日まで、JRA馬事公苑で関東学生春季大会が行われ、団体戦は学生章典馬場馬術競技と総合馬場馬術競技の2種目で準優勝した。個人では小林千純

分がまた馬を扱いきれていなかった。馬の特長を引き出して東都学生競技大会(4月12、14日)に臨みたいと話した。(大島 輝・文3)

文中の学年は、3月31日までの記事については旧学年で表記しています。

専大スポーツ

No.325

大会結果 予定は体育会ホームページ 専大ホームページ スポーツからアクセスで確認ください
専大スポーツ編集部 web(<http://sensupo.web.fc2.com/>) 大会結果を配信しています

8回、ツニヤカオ(右)にアッパーを浴びせる山中さん。毎日新聞社提供

都合により写真を掲載いたしません。紙面をご覧ください。

一緒に歴史の1頁を刻もう



やる気・熱意のある方は、第一学生自治会館2階の部室まで来てくださ

「スポーツを見るのが好き」「記事を書いてみたい」「大学に入って何かを成し遂げたい」など理由は何でもOKです! あなたも私たちとともに専大スポーツ編集部の歴史の1ページを築いていきませんか?

「スポーツを見るのが好き」「記事を書いてみたい」「大学に入って何かを成し遂げたい」など理由は何でもOKです! あなたも私たちとともに専大スポーツ編集部の歴史の1ページを築いていきませんか?



3月15日に発行されたStation第9号「復活」。今号では12季ぶりに東都大学野球リーグ1部に復帰を果たした野球部の特集やバレーボール・シニア日本代表に選出された高橋拓也(経営2・東亜学園高)、藤中謙也(経営2・宇部商高)のインタビューのほか、専スポ部員イチオシの選手を紹介する「俺の推しメン」など内容は盛りだくさん。ぜひ一度手にとっていただきたい。(村上)

専Station 第9号発行

1部復帰の野球部特集

専スポ編集部員募集

体育会本部情報編集(専大スポーツ編集部)は現在、2・3年次生合わせて24人で活動しています。